



カンムリウミスズメ

ふれあい

平成26年1月NO10
発行 門川町教育研究所
所長 新原 とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

3学期は、まとめと準備の大切な学期です！

最後の学期が始まりました。3学期は、1年の学習の仕上げの学期でもありますが、新しい学年の準備の学期でもあります。3学期をどのように過ごすかで、新しい学年での生活や学習が変わってきます。そこで、今月は、教育研究所おすすめ、「3学期の生活や勉強の大切なポイント」を紹介します。是非、参考にさせていただき、素晴らしい3学期になることを期待しています。

3学期の生活や勉強の大切なポイント！



3学期のポイント

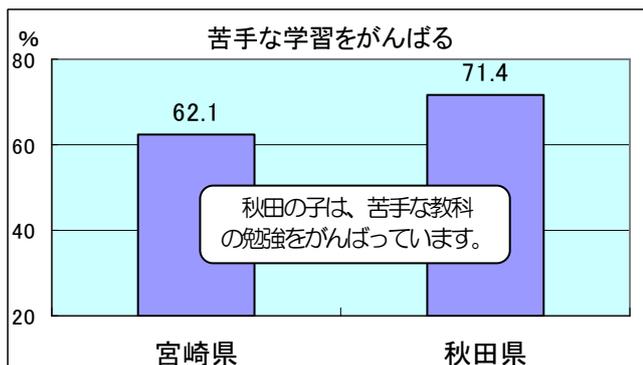
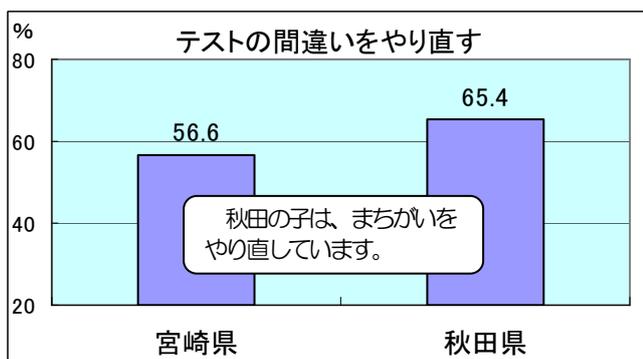
- 1 今年やり残したことに取り組む。
- 2 新学年の目標をつくる。
- 3 新学年に向けた準備をする。

3学期は、1年の終わりの学期であるとともに、実はスタートの学期でもあります。新学年の「0学期」と言えるかもしれません。

この3学期を、どう過ごすかで、次の新しい学年がどんな学年になるかが決まります。

ポイント1

まちがいをやり直し、苦手な勉強に挑戦しよう！



学力が全国トップレベルといわれる秋田県の子どもたちは、まちがえたテストをやり直したり苦手な教科の勉強に挑戦したりして、学力を高めています。(平成25年度全国学力調査)

3学期は、まとめの学習が中心になります。この時に、これまでできなかった苦手な勉強に挑戦しましょう。苦手な勉強のこつは、毎日少しずつ続けることです。毎日続けた自信が、苦手な勉強を乗り越えるための大きな力になり、できなかったことができるようになり、自信がつかます。

1月末には、CRT検査(1年間の学習がどれくらい理解できているかを調べる)が行われます。その結果を利用して、十分ではなかった勉強に取り組むのもおすすめです。

ポイント2

新学年に向けて、^{もくひょう}目標づくりをしよう！



3学期は、次の新しい学年への希望や期待が生まれる、とても大切な時期です。

新しい学年では、こんなことをしたい、あんなことをしたいと、いろいろな目標をもち、期待をもつことで成長することができます。

これまでにできなかったことは少しでも前進するように、よくできたことはさらに伸びるように、新しい目標づくりをしましょう。

目標づくりでは、手の届かないようなものではなく、もう少しがんばればできる、という目標を立てる工夫も大切です。

○ 勉強での目標例

- ・ 苦手なテストで10点アップする。
- ・ 勉強時間を20分伸ばす。
- ・ 宿題わすれ“0”をめざす。

○ 生活での目標例

- ・ 遅刻をなくす。
- ・ ゲームやテレビの約束を守る。
- ・ 朝食を必ず食べる。

目標を1つ立てると、ほかのこともできるようになります。目標を1つか、2つに絞るのも効果的です。

ポイント3

新しい学年に向けて、^{じゅんび}準備をしよう！



心の準備をしよう！

新学年の大きな変化を乗り越えるには、3学期のうちから心の準備をする必要があります。

新しい学年でがんばっている自分の姿や楽しい学校生活を想像しながら、心の準備をしましょう。

心の準備は、次の新しい生活に進むための大きな力になります。

体の調子を整えよう！

心と体は一体とされています。体の調子が悪いと、心の準備もできません。

病気をしないことはもちろん大切ですが、朝の体の調子を整えることが大切です。そのためには、食事や睡眠などに十分気をつける必要があります。

「もの」の準備をしよう！

身の回りの「もの」の準備ができていないと、心が落ち着き、生活も安定するものではありません。

新しい学年に必要なものを少しずつ準備して、あわてなくてもよいようにしておきましょう。身の回りを整理して、気持ちよく新学年を迎えるようにしましょう。

教育研究所からのメッセージ

新しい学年は、1学期からではなく、前の学年の3学期から始まるということができます。今回は、3学期をどのようなポイントに気をつけて過ごせばよいかということについて、教育研究所おすすめの「3つのポイント」を紹介しました。

各家庭で、ぜひ、親子でこの「ふれあい」を読んで、3学期をどのように過ごしていけばよいかについて話し合ってもらえれば幸いです。

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話してください。

電話相談（門川町教育相談室）
63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~